

稲山  
連合町内会



▲ 地域防災リーダー養成研修会での災害図上訓練（D I G）の様子

災害に負けない  
“地域の力”を  
育てたい



▲ 防災部長の滝口さん

稲山連合町内会は、1月に「地域防災リーダー研修会」を実施。防災部長を務める滝口亘さん（稲山第6町内会長）を中心に連合町内会自ら企画し、消防署の協力を得て地震を想定した災害図上訓練（D I G）などを行いました。昨年猛威を振るった台風18号や新潟県中越地震などの天災の脅威を相次いで目の当たりにし、阪神淡路大震災から10年を迎えたこの時期に、改めて防災の意識を高めようと企画され、今年初めて実施しました。

「災害時には、自分たちでできることは自分たちでやらなければなりません。災害をゼロにすることができない以上、普段から身近な問題として関心を持って、できる限りの備えをすることが必要だと思います」と滝口さん。「こういった取り組みを積み上げ、行政と地域が共に、考えていくことが必要」と考えています。

災害の被害を最小限にするためには地域の力が必要不可欠。その力を生み、大きく育てていく取り組みが今後も続けられます。